

■ 令和5年度決算の概況 （令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（1）業績

経常収益については、受託事業収益が事業の進捗に伴い前期比0.7億円減となった反面、土地改良施設維持管理適正化事業が0.6億円増となりました。この結果、経常収益合計は前期比0.2億円減の20.1億円となりました。

一方、費用については、物価高騰により全般的に増加したものの、受託事業に係る委託費を抑制したことにより、経常費用合計は前期比0.3億円減の19.1億円となりました。

その結果、当期経常増減額は1.0億円（前期比△0.1億円）となり、当期経常外増減額2.8億円を合わせた当期一般正味財産増減額は3.9億円となりました。

業績ハイライト		
経常収益	経常費用	当期経常増減額
20.1億円	19.1億円	1.0億円
前期比0.2億円1%減	前期比0.3億円2%減	前期比0.1億円7%増

正味財産増減計算書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで） （単位：百万円）

科目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
基本財産および特定資産運用益	11	11	0
賦課金	12	11	1
受託事業収益	1,247	1,323	△ 75
補助事業（土地改良区体制強化事業）	14	15	△ 1
土地改良施設維持管理適正化事業	722	669	53
その他	8	12	△ 4
経常収益計	2,014	2,041	△ 27
経常費用			
管理費	307	289	18
受託事業費	820	960	△ 140
補助事業費（土地改良区体制強化事業）	14	18	△ 4
土地改良施設維持管理適正化事業	722	670	52
その他	46	7	40
経常費用計	1,910	1,945	△ 34
当期経常増減額	103	96	7
経常外増減の部			
経常外収益計	288	146	142
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	288	146	142
当期一般正味財産増減額	392	242	149
一般正味財産期首残高	4,778	4,535	242
一般正味財産期末残高	5,170	4,778	392
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	5,170	4,778	392

(2) 予算執行実績

収支予算総額29.1億円に対し決算額28.9億円となりました。そのうち、前期繰越収支差額を除いた当期分については、予算額27億円に対し決算額26.8億円となり、予算の範囲内で適正に執行しました。

収支計算書（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）				単位：百万円
科 目	予算額	決算額	差異	執行率
1 当期収入合計	2,700	2,681	19	99%
2 当期支出合計	2,006	1,934	72	96%
3 収支差額	694	747	△ 53	-
4 前期繰越収支差額	215	215	0	-
5 次期繰越収支差額	909	962	△ 53	-
6 収入支出予算総額	2,915	2,896	19	-

(3) 財産状況

運営資金は全て自己財源で賄っており、力強い財務基盤を維持しています。

貸借対照表（令和6年3月31日現在）		（単位：百万円）	
科目	当年度	前年度	増減
流動資産	1,558	1,318	240
現金預金	410	189	221
未収金	1,121	1,075	46
前払金	7	4	3
貯蔵品	0	0	0
立替金	0	1	△ 1
未成工事支出金	20	49	△ 29
固定資産	4,774	5,362	△ 588
基本財産	1,175	1,167	8
特定資産	3,039	3,645	△ 606
職員退職給付引当資産	865	837	28
機械器具償却引当資産	621	655	△ 34
財政調整運営資金積立資産	1,553	2,153	△ 600
その他固定資産	561	550	11
資 産 合 計	6,332	6,680	△ 348
流動負債	645	1,124	△ 479
未払金	556	1,033	△ 477
前受金	0	1	△ 1
預り金	20	20	0
仮受金	0	0	0
賞与引当金	69	71	△ 2
固定負債	517	778	△ 261
退職給付引当金	387	517	△ 130
機械器具償却引当金	130	261	△ 131
負 債 合 計	1,162	1,902	△ 740
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	5,170	4,778	392
正 味 財 産 合 計	5,170	4,778	392
負債及び正味財産合計	6,332	6,680	△ 348